

新年の聴き初めはこれで決まり!

大阪が誇るマエストロ

瀬山

ピアノ界のプリンス

外山

華麗なる共演!!

Tomohiro Seyama Conducts

21世紀の 新世界

「指揮」 瀬山智博

「ピアノ」 外山啓介

「管弦楽」 関西フィルハーモニー管弦楽団

J.シュトラウスII
オペレッタ「こうもり」序曲

ショパン
ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11

ドヴォルザーク
交響曲 第9番 ホ短調 「新世界より」 op.95

2019 1/12 (土) 2:00pm開演 (1:00pm開場) ザ・シンフォニーホール
A5,500円 B4,500円 C3,000円 (消費税込)

主催/朝日友の会、ABCテレビ
後援/朝日新聞社
協力/ザ・シンフォニーホール

7/22(日)発売

- アスク プレイガイド
06-6222-1145 [10:00~17:30 (土日祝定休)]
- ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 [10:00~18:00 (火曜定休)]
- チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:119-783]
- ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:57024]
- CNプレイガイド 0570-08-9990
- e+(イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ ABCぴあ (webで予約・購入)

ABCぴあ 検索 <http://abc-ticket.pia.jp/>

座席選択が可能! 24時間購入できる!
クレジットカード決済も可能!! メルマガで優先予約をご案内!!
1度登録すると次回予約が簡単!!

■ お問い合わせ

ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

ABCクラシックガイドのホームページ
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

ABC主催コンサート等のイベント情報をご覧いただけます。
※未就学児童のご入場はお断りいたします。※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

21世紀の 新世界

Tomohiro Seyama Conducts

新年の聴き初めはこれで決まり!

指揮界の新しい風!注目を集める若手実力派・瀬山智博が、新春の人気コンサートに3度目の登場です。大阪出身、世界的指揮者の登竜門「ブザンソン国際指揮者コンクール」のファイナリスト。ドイツやスイスなどの歌劇場で次々とデビューを果たし、ヨーロッパを中心に活躍を広げています。過去2回の登場で、トレードマークのヘアスタイルに愛着を抱く方も多いのでは!?いきいきと情感溢れるタクトは、私達に新年の喜びをもたらしてくれました。

まだ飛行機のない時代、祖国チェコからアメリカに渡ったドヴォルザークが、初めて耳にした黒人霊歌や体験、そして望郷の念が込められた「新世界交響曲」。何度聴いても気持ち新たになるメロディアスな傑作です。ドヴォルザークが吹き込んだ神秘のエッセンスに、瀬山×関西フィルがどのような化学反応を起こすでしょうか。

共演は日本を代表するピアニスト外山啓介。こちらの共演も話題となり、瀬山×外山で3度目のタッグです。今回は外山啓介の原点とも言えるショパンで「ピアノ協奏曲第1番」をお届けします。

幕開けは、本場の歌劇場でオペラやオペレッタを積極的に演奏されているマエストロならではの「こうもり序曲」でニューイヤーらしく!毎年恒例で、毎年新しい『21世紀の新世界』。あなたの2019年を、鮮やかに彩るこのコンサートでスタートしませんか!



瀬山智博 [指揮] Tomohiro Seyama, Conductor

大阪府豊中市出身。大阪音楽大学ピアノ科、ウィーン国立音楽大学指揮科を卒業。06年イタリアのシエナ・キジアーナ音楽院オーケストラ指揮ディプロマを所得。ウィーン国立音楽大学在学中にはウィーン楽友協会合唱団員として研鑽を積む。08年ドイツのアーヘン歌劇場のコレペティートルとして活動。翌年にはウィーンのシェンブルン宮殿歌劇場でモーツァルトの「ドン・ジョヴァンニ」指揮。その後オーストリアのブレゲンツ音楽祭やトリノ王立歌劇場のアシスタントなどを経て、16年ドイツのデッサウ市ザクセン・アンハルト州立歌劇場およびスイスのヴァンタートゥール歌劇場でデビューを果たす。16/17年のシーズンはドイツ・マグデブルグ歌劇場のカベルマイスター(専属指揮者)として活動。これまでに指揮を湯浅勇治、小澤征爾、レオポルト・ハーガー、ウーロシュ・ライオヴィッチ、ファビオ・ルイジ各氏に師事。シカゴのゲオルグ・ショルティ国際指揮者コンクールセミファイナリスト、ブザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト。

外山啓介 [ピアノ] Keisuke Toyama, Piano

第73回日本音楽コンクール第1位。東京藝術大学卒業後ハノーファー音楽演劇大学留学を経て、東京藝術大学大学院を修了。07年CDデビュー、サントリーホールをはじめ各地で行われたデビュー・リサイタルが完売となる。ほぼ毎年CDをリリースし09年「ラフマニノフ」と13年「展覧会の絵」は「レコード芸術」誌特選盤に選出されている。16年にはベルリン交響楽団日本ツアーにソリストとして参加。全国各地でのリサイタル・ツアーを毎年実施、主要オーケストラとの共演も多数あり、その繊細で色彩豊かな独特の音色を持つ演奏は、各方面から高い評価を得ている。17年はデビュー10周年記念ツアーを約20か所で行い、最新CD「マイ・フェイス・リッツ」をリリースした。18年、第44回「日本ショパン協会賞」受賞。

外山啓介公式サイト <http://www.keisuke-toyama.com>



関西フィルハーモニー管弦楽団 [管弦楽]

Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足。2003年NPO法人化、2014年認定NPO法人化、2018年公益財団法人化。関西を代表する楽団の一つ。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは08年より首席客演指揮者を務め、11年より楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は00年より正指揮者を務め、07年より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は01年より常任指揮者を務め、11年桂冠名誉指揮者に就任。『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆へ勇気と感動を与える活動を展開。地域密着の重視など、明確なビジョンで挑戦を続ける個性派楽団として好評を博している。14年10月よりスタートしたBSジャパンの音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜夜11時半)に藤岡幸夫と共に出演中。15年5月から6月にかけては、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー(合計5公演)を開催し、各地で大きな注目を集めた。 オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>

